

～ 健口と輝く笑顔のために～

歯科衛生だより 会報

2024 June vol. 81

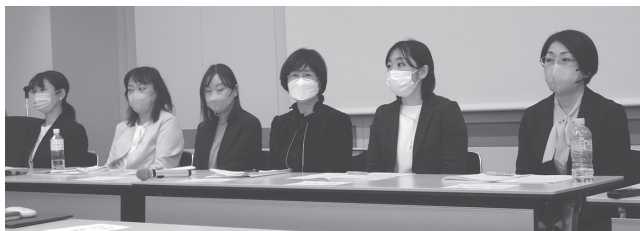
 発行人/吉田 直美 発行/公益社団法人 日本歯科衛生士会 〒169-0072 東京都新宿区大久保2-11-19
 TEL.03(3209)8020 FAX.03(3209)8023 <https://www.jdha.or.jp/>

歯科衛生推進フォーラムが開催される

令和6年2月12日(月・休)、令和5年度の歯科衛生推進フォーラムが開催された。コロナ禍でオンライン開催が続いていたが、4年ぶりにステーションコンファレンス東京にて会場開催となった。参加者は145名であった。

はじめに、吉田直美会長から、本会の災害支援活動について説明があり「歯科衛生士にしかできない災害支援があること。歯科衛生学生でもできる災害支援があること。会費は災害支援にもいかされていること。」とお話があった。また、歯科衛生推進フォーラムの開催目的として、歯科保健医療ニーズの変化に応じた歯科衛生活動を実践するための厚生労働行政や保健医療・福祉の動向に対応できる知識や技術を習得する機会であるとの説明があった。

続いて、来賓の厚生労働省保険局医療課 歯科医療管理官の小嶺 祐子氏のご挨拶の後、「歯科保健医療の動向」についてご講演をいただいた。2024年(令和6年)は、診療・介護および障害福祉サービスなどの報酬の同時改定が行われる。関連制度や次期国民健康づくり運動、歯科口腔保健の推進に関する基本事項(第二次)などが開始される



左から、長 優子氏・武藤 智美氏・大屋 朋子氏・吉田 幸恵氏・鈴木 瞳氏・村西 加寿美氏

大きな節目となることや令和6年度診療報酬改定における歯科診療報酬について現時点で可能な限りのご説明をいただいた。今回の改定では、リハビリテーション・栄養管理・口腔管理との連携が重要となっていること、専門歯科衛生士制度の必要性についてと日々の研鑽は重要であることの根拠をわかりやすくご説明いただいた。

午後は、「歯科衛生士の現場から歯科衛生士の専門性を考える」をテーマに吉田直美会長を座長に、①「病院に勤務する歯科衛生士の専門性」病院委員会 委員 大屋 朋子氏、②「診療所勤務の歯科衛生士として」診療所委員会 委員長 武藤 智美氏、③「行政歯科衛生士に求められるスキルとは」地域歯科保健委員会 委員長 長 優子氏、④「在宅療養者の口腔健康管理」在宅・施設口腔健康管理委員会 委員長 村西 加寿美氏、⑤「臨床・臨地実習の現在」教育養成委員会 委員 鈴木 瞳氏、⑥「今後の日本歯科衛生学会での取り組みについて」日本歯科衛生学会 学会長 吉田 幸恵氏からお話いただいた。例年とは異なり、本会からの情報発信となり、討議では、非常にわかりやすい内容で歯科衛生士の専門性について理解と興味・期待が高まったと会場から活発な意見が交わされた後、閉会となった。会場内では対面で個々の交流も多く行われ、盛会となった。



吉田 直美 会長



日本歯科衛生士会
Instagram公式アカウント
歯科衛生推進フォーラム

令和5年度「都道府県歯科衛生士会会長会・分科会」が開催される

令和6年2月11日(日・祝)ステーションコンファレンス東京にて、令和5年度都道府県会会長会・分科会が出席者68名(47名、関係者21名)で開催された。

はじめに吉田会長からのご挨拶があった。能登半島地震で亡くなられた方への哀悼の意を表し、被害に遭われた方々へのお見舞いととも被災地の一日も早い復興を祈念された。

会長に就任して2年8か月、分野の異なる三役と理事の協力を得て進めている執務への想いが語られた。予算制度に関することは①医科歯科連携推進に関すること、②卒前・卒後のシームレスな人材育成の教育研修体制構築に関すること、③歯科



司会 河野章江 副会長

衛生士の人材確保に関すること、④行政に関わる歯科衛生士の配置促進に関わること、⑤処遇改善に関わることの5つを掲げて「要望書」の内容の検討、関係先との打ち合わせや委員会などが行った調査報告を日本歯科衛生学会雑誌に掲載するなど努力を行っている。昨年から数名、厚生労働省に任期付きで歯科衛生士が雇用され、九州地区に歯科衛生士研修センターが設置されるなど、少しずつ成果を得ている。第8次医療計画やすべての国民にとって健康で質の高い生活を営む基盤となる生涯を通じた歯科口腔保健を実現することを目的とした歯科口腔保健に関する総合的な事項も動いている。しかし、依然として本会にとっての大きな課題は、歯科衛生士の人材確保となっている。「のびしろ」しかない歯科衛生士の魅力を示す必要があり、社会的な地位や待遇の改善も必須である。このためには歯科衛生士自らがエビデンスを蓄積し、意思決定に参画する必要があるため、本会長会では、会員拡大・組織強化について情報交換を行っていただきたいとお話があった。その後、協議事項「令和6年度事業計画(案)の概要」(久保山 裕子副会長)、「令和6年度の生涯研修・認定研修」「都道府県歯科衛生士会への研修支援」(河野 章江副会長)、「令和6年度ブロック連絡協議会・ブロック研修実施要領」「歯科衛生士復職支援・離職防止等研修指導者養成研修事業」(岡田 昌子専務理事)から説明があった。次に、生涯研修委員会(秋山 恭子理事)、在宅・施設口腔健康管理委員会(村西 加寿美常務理事)、災害歯科保健委員会(下池 光理事)、地域歯科保健委員



分科会の様子

会(長 優子理事)、診療所委員会(武藤 智美常務理事)の各委員会からの報告事項があった。石川県歯科衛生士会の須貝美夏会長からは、令和6年能登半島地震における災害支援活動状況の報告があった。

午後は分科会となり、渡邊 理沙理事から趣旨説明の後、「加入率(組織率)を維持するには」として兵庫県歯科衛生士会の高橋 千鶴会長と島根県歯科衛生士会の吉田 ちかみ会長から情報提供があった。分科会は



石川県歯科衛生士会 須貝 美夏会長

いずれも6グループに分かれ、規模別グループ討議のテーマは「加入率(組織率)を維持・向上するには」であった。ブロック別交流では規模別グループ討議の内容を共有し、令和6年度ブロック連絡協議会の打ち合わせが行われた。岡田 昌子専務理事より総評があった。

2020年以降オンライン開催が続き、4年ぶりの対面となり、会長間の交流が活発に行われ、本会の組織力を高める有意義な会となった。



日本歯科衛生学会 専門領域別・研究集会の専門領域についてのご紹介

2024年9月21日(土)日本歯科衛生学会第19回学術大会から始まる専門領域別・研究集会の専門領域についてご紹介します。初回は3つの専門領域の研究に通ずる先生方のご発表を予定しておりますので、奮ってご参加ください。

医療連携・口腔健康管理

周術期口腔機能管理を主軸とした口腔健康管理や多職種連携・チーム医療に関する活動のなかでの研究成果発表を主体とした専門領域です。

- 全身疾患を有する患者に対する口腔健康管理の効果
- 入院患者の予後を決定する口腔状態因子の探索 など

口腔健康教育

個人・産業歯科保健・学校歯科保健での歯科予防から医療安全管理対策まで多岐にわたる口腔健康教育に関する活動のなかでの研究成果発表を主体とした専門領域です。

- 歯科診療所や地域行政における歯科保健活動の効果
- 歯周治療における歯科衛生士の介入効果 など

地域連携・口腔健康管理

地域医療や在宅医療における口腔健康管理に関する活動のなかでの研究成果発表を主体とした専門領域です。

- 歯科訪問診療での口腔健康管理の効果
- 摂食嚥下リハビリテーションを通じた他職種との連携効果
- 効果的なオーラルフレイル予防活動の確立 など

(日本歯科衛生学会 企画第二委員会)

※日本歯科衛生学会 第19回学術大会 参加登録のご案内は本紙7ページに掲載

令和6年度 認定歯科衛生士セミナープログラム

令和6年度 認定歯科衛生士セミナーのプログラムをご紹介します。なお、受講申込みは締め切っており、これからのお申込みはできません。

生活習慣病予防 (特定保健指導-食生活改善指導担当者研修)コース

日程 ●オンデマンド配信：9月2日(月)～10月16日(水)
●ライブ配信：10月19日(土)
●認定テスト：10月19日(土)

受講料 30,000円

本コース(食生活改善指導担当者研修30時間)を受講した者は、食生活の改善指導に関する専門的知識および技術を有するものと認められる。保健指導の実施者(医師・保健師・管理栄養士)が作成した特定保健指導支援計画に基づき、食生活の改善支援および運動支援(3メッツ以下)を実施することができる。また、2018年から特定健診の質問票に咀嚼に関する項目が追加されたことにより、口腔の健康と全身の健康との関係について適切な支援方法を習得する。歯科衛生士として、口腔環境に配慮した食生活改善指導および運動支援を行うための専門的知識および技術を身につける。

	研修項目	研修内容
1	健康づくり施策概論	1 健康づくり施策の考え方と進め方
2	生活指導およびメンタルヘルスケア	1 生活指導と健康に影響する生活環境要因 2 個人の健康課題への対処行動(保健行動) 3 ストレスとその関連疾患およびストレスの気づきへの援助 4 個別・集団の接近技法 5 ライフステージ・健康レベル別健康課題と生活指導
3	栄養指導	1 栄養・食生活の基礎知識および今日的課題と対策 2 食行動変容と栄養教育 食生活改善指導者の役割 3 ライフステージ、ライフスタイル別栄養教育
4	健康教育	1 健康教育の理念と方法 2 健康生活への指導プログラムの基礎知識と方法 3 メタボリックシンドロームに対する健康教育 4 禁煙支援プログラムの基礎と実践 5 メタボリックシンドロームと口腔保健
5	身体活動・運動の基礎科学	1 身体活動・運動と健康のかかわり
6	研究討議	意見交換 メタボリックシンドローム関連

摂食嚥下リハビリテーションコース

日程 ●オンデマンド配信：9月20日(金)～11月22日(金)
●集合型研修：11月23日(土・祝)～11月24日(日)
開催会場：東京都立産業貿易センター 浜松町館(東京都)
●認定テスト：11月24日(日)

受講料 35,000円

摂食嚥下障害を有する対象者に、歯科衛生士として適切で水準の高い摂食嚥下リハビリテーションを計画的、科学的に実践するために、リスク管理を含む全人的な観点から、問題解決能力と臨床的技能、臨床的態度を備えているか確認する。日本摂食嚥下リハビリテーション学会の協力により実施される。

	研修項目	研修内容
1	リハビリテーション総論	1 リハビリテーション医学とは 2 運動学習とは 3 摂食嚥下の運動学

2	摂食嚥下障害者への口腔管理と制度の理解	1 摂食機能障害者に関する制度の理解 2 医療保険、介護保険制度と口腔管理の実際
3	摂食嚥下機能のメカニズム(解剖)	1 口腔の構造 2 咽頭の構造 3 喉頭の構造 4 鼻腔の構造 5 摂食嚥下に関与する筋
4	摂食嚥下機能のメカニズム(生理)	1 摂食運動 2 咀嚼から嚥下への過程 3 嚥下運動の過程 4 嚥下運動の誘発 5 嚥下と呼吸のかかわり 6 嚥下運動に関連する器官における反射
5	咬合および咀嚼機能の管理と評価	1 咬合と咀嚼運動 2 咀嚼運動の解剖・生理 3 咀嚼機能の低下の要因 4 咀嚼・嚥下機能と咬合支持の関係性 5 咀嚼の機能低下による全身への影響
6	栄養管理	1 栄養ケアマネジメント 2 栄養摂取方法・補助栄養法 3 食事形態 4 嚥下調整食とは 5 栄養サポートチーム(NST)の概念について
7	リスクマネジメント・全身管理	1 全身状態の把握と対応 2 バイタルサインのチェック
8	リスクマネジメント・呼吸管理と肺理学	1 呼吸器の解剖と生理 2 アセスメント方法 3 呼吸法 4 呼吸筋ストレッチ 5 徒手呼吸助手法 6 体位ドレナージ 7 気道管理(気管カニューレなど)と外科処置
9	リスクマネジメント・経鼻吸引	1 経鼻吸引 2 演習
10	病態別摂食嚥下障害(小児の摂食嚥下障害)	1 小児の口腔形態 2 正常発達と口腔機能の獲得 3 小児の摂食嚥下障害
11	病態別摂食嚥下障害(頭頸部がん等の摂食嚥下障害)	1 頭頸部外科手術 2 頭頸部がんの放射線治療後の摂食嚥下障害の病態 3 歯科的補綴装置
12	病態別摂食嚥下障害(中途障害の摂食嚥下障害)	1 脳血管障害 2 高次脳機能障害 3 認知症 4 神経・筋系疾患 5 サルコペニア
13	摂食嚥下の評価	1 フィジカルアセスメント 2 スクリーニング手法 3 頸部聴診法 4 嚥下造影検査、嚥下内視鏡検査
14	食事外部観察評価	1 維持期における摂食嚥下機能低下の原因とリスクおよびその対応 2 摂食時の外部観察評価 3 その外部観察評価における問題点の抽出、分析およびその対応 4 演習

	研修項目	研修内容
15	摂食嚥下訓練	1 摂食嚥下障害に対する訓練計画立案、食指導 2 各病態に対する訓練法とその選択 3 演習
16	歯科衛生ケアプロセス(歯科衛生過程)	1 歯科衛生の視点とは 2 歯科衛生ケアプロセス(歯科衛生過程)の概要 3 演習 4 フィードバックと模範解答

在宅療養指導・口腔機能管理コース

- 日程**
- オンデマンド配信：8月14日(水)～9月14日(土)
 - ライブ配信：9月8日(日)
 - 集合型研修：9月15日(日)、16日(月・祝)
開催会場：宝塚医療大学大阪中津キャンパス(大阪府)
 - 認定テスト：9月16日(月・祝)

受講料 40,000円

我々歯科衛生士は、口腔衛生管理および口腔機能管理を包括した「口腔健康管理」を必要としているより多くの在宅療養者に対応することが求められてきている。さらに、昨今は病態把握や栄養だけではなく、医療機器、薬剤有害事象、看取り期などの知識・技術も必要になってきている。これらをふまえて、本プログラムは在宅療養者の支援に必要な口腔健康管理の知識・技術を習得できるよう、組まれたものである。

	研修項目	研修内容
1	日本における歯科の在宅医療と未来	日本における歯科の在宅医療と未来について
2	在宅医療の現状	1 在宅医療を取り巻く環境 2 在宅医療と地域包括ケア 3 医療的ケア児
3	在宅医療に関わる全身疾患と口腔機能	1 病態把握 2 全身疾患と検査値との関連
4	多職種連携について	1 多職種連携の実際 2 在宅療養者の環境把握 3 多職種からみた口腔機能 4 家族支援とは
5	口腔機能管理の実際	1 口腔衛生(口腔の解剖学的・生理学的基礎) 2 口腔機能(咀嚼と食塊形成)
6	栄養管理・栄養支援	1 栄養評価 2 在宅療養者の口腔機能と栄養支援
7	在宅医療に関わる医療機器の取り扱い	1 医療機器の基本知識 2 在宅医療と医療機器 3 医療機器とリスクマネジメント
8	在宅医療と薬剤の基礎知識	1 在宅医療に起こることが多い薬剤有害事象 2 有害事象への対応
9	在宅医療と終末期・看取りの知識	1 終末期・看取りの考え方 2 歯科衛生士の役割
10	在宅医療と歯科衛生士が行うマネジメント	
11	在宅支援と歯科衛生士の介入の実践	グループワーク(1症例)
12	施設体験学習	

糖尿病予防指導コース

- 日程**
- ライブ配信：9月29日(日)
 - オンデマンド配信：9月30日(月)～11月22日(金)
 - 集合型研修：11月23日(土・祝)～11月24日(日)
開催会場：東京都立産業貿易センター 浜松町館(東京都)
 - 認定テスト：11月24日(日)

受講料 35,000円

糖尿病予防の口腔保健指導および管理にかかる専門的な知識・技術を習得し、地域社会に貢献できる医学的、歯学的な知識と口腔保健学的技能を習得する。徳島大学歯学部との協力により実施。

	研修内容
1	オリエンテーション 1 アイスブレイク 2 糖尿病とその予防で学習したいこと(グループワーク)
2	ペリオドンタル・メディスン
3	糖尿病の基礎知識
4	糖尿病臨床の実際
5	国民健康の疫学
6	糖尿病と歯周病の関連性
7	学校保健と糖尿病予防
8	地域歯科医療における糖尿病予防 1 多職種連携における糖尿病予防
9	糖尿病予防の指導と管理 1 糖尿病予防の栄養指導と管理 2 糖尿病予防の運動指導と管理 3 糖尿病予防の口腔保健指導と管理
10	歯科衛生士による保健指導 1 歯科衛生士による口腔保健指導(1) 2 歯科衛生士による口腔保健指導(2)
11	糖尿病予防の指導と管理 1 糖尿病療養の保健指導と管理 2 糖尿病療養の口腔保健指導と管理
12	糖尿病療養管理の視点を予防に役立てる
13	成人歯科健康診査「生活歯援プログラム」
14	シナリオに対する口腔保健指導プラン作成
15	教育講演

医科歯科連携・口腔機能管理コース

- 日程**
- 前期 ●オンデマンド配信：6月30日(日)～7月27日(土)
 - ライブ配信：7月28日(日)
 - 後期 7月29日(月)、8月5日(月)、19日(月)、26日(月)
東京歯科大学市川総合病院にて見学・実習、認定テスト
*後期は4回に分け、5～6名ずつ実施

受講料 55,000円

医科歯科連携のもと、医科疾患患者の口腔健康管理を実践するために必要な知識、技術を習得する。東京歯科大学に委託実施。

	研修内容
1	がん患者の周術期管理 ～外科の立場から～
2	病院における口腔機能管理に必要な基本的知識
3	脳卒中患者の口腔機能管理
4	周術期口腔機能管理の制度(保険点数)

研修内容	
5	緩和ケア ～認定看護師の立場から～
6	化学療法と有害事象 ～薬剤師の立場から～
7	放射線療法と有害事象
8	臨床研究の進め方
9	グループワーク(症例検討)
10	周術期口腔機能管理 ～歯科衛生士の立場から～
11	東京歯科大学市川総合病院 見学説明
12	歯科・口腔外科外来での周術期口腔機能管理見学
13	口腔がんセンターでの周術期口腔機能管理見学
14	栄養サポートチーム(NST)回診見学
15	病棟での口腔管理見学
16	シミュレータを用いた吸引実習
17	シミュレータを用いた呼吸音聴診実習
18	シミュレータを用いた挿管患者における口腔衛生管理

歯科医療安全管理コース

- 日 程**
- オンデマンド配信：7月27日(土)～9月8日(日)
 - ライブ配信：8月31日(土)～9月1日(日)
 - 認定テスト：9月1日(日)

受講料 35,000円

医療連携、多職種連携に対応し、歯科医療機関における組織的な医療安全管理体制を確立、定着させるため、高度で総合的な医療安全、感染対策の実践および指導技術の習得を有する歯科衛生士を養成する。広島大学歯学部にて委託実施。

研修内容	
1	感染予防対策総論 感染予防の概論など
2	歯科医療における標準予防策の具体的方法 1 標準予防策の基本的考え方と歯科医療 2 オーデットについて
3	歯科医療器具の洗浄、消毒、滅菌の総論 1 洗浄、消毒、滅菌の総論
4	病院、歯科診療所での感染予防対策の実践 1 病院・歯科診療所における実践方法
5	歯科医療の環境整備・医療廃棄物の取扱い 1 ユニットチェアサイドの環境整備 2 水の管理 3 医療廃棄物の取扱い 4 針刺し・粘膜曝露等職業感染の考え方
6	院内感染対策で重要な微生物 1 院内感染対策で重要な細菌、ウイルス 2 薬剤耐性菌 3 AMRアクションプラン

7	標準予防策の実践 1 手指衛生、個人防護具(PPE)、ラッピング等の実際 2 歯科衛生士倫理綱領確認 3 医療安全自己チェック
8	COVID-19の基礎知識と感染予防対策について COVID-19の基礎知識と感染予防対策
9	医療安全対策総論 1 医療安全管理体制構築の指針 2 ヒューマンエラーと医療事故
10	医薬品、医療機器の安全管理方法 1 医薬品管理(数量、期限など) 2 薬剤の知識(処方箋、禁忌など) 3 機材管理(モニター、AEDなど)
11	周術期口腔ケア、訪問診療の医療安全対策 1 周術期口腔ケア、ICU、点滴回路 2 訪問診療における予防対策(誤嚥、誤飲、転倒、転落など) 3 ICU、点滴回路等
12	口腔外科手術時の医療安全対策 1 口腔外科手術での偶発症対策 2 インフォームドコンセント
13	歯科衛生士が起こしやすいインシデントの対応予防策 1 事例から学ぶ具体的予防策・対応方法
14	レジリエンス・エンジニアリングと医療安全 1 レジリエンス・エンジニアリングと医療安全を学ぶ
15	医療情報、個人情報の管理と実際 1 医療情報、個人・診療情報の規定 2 医療安全としてのカルテ記載方法 3 カルテや患者情報の取り扱い方
16	歯科衛生士のリスクマネジメントプロセス 1 診療現場における歯科衛生士のリスクマネジメントプロセスの実際
17	歯科で起こりやすい患者急変時の対応と予防策 1 デンタルショック、過換気症候群、アナフィラキシーショックの違い 2 誤飲などの緊急対応法 3 救急薬剤、救急器材 4 モニターの見方 5 小児への対応 6 BLSの実際
18	臨床現場における医療安全(感染含)対策ワークショップ 1 ワークショップについて 2 項目番号18の課題説明 3 アイスブレイク 4 グループ討論、成果作成 5 発表、全体討議、フィードバック
19	感染防止対策ワークショップ 1 テーマ別のオーデット作成 2 各グループからの発表 3 フィードバック
20	事例から学ぶ医療安全対策ワークショップ 1 実際の事例について対応策・予防策を討論 2 各グループからの発表 3 フィードバック

令和5年度 認定歯科衛生士の紹介

日本歯科衛生士会認定歯科衛生士制度規則に基づき、認定分野別に生活習慣病予防(特定保健指導-食生活改善指導担当者研修)38名、摂食嚥下リハビリテーション37名、在宅療養指導・口腔機能管理44名、糖尿病予防指導43名、医科歯科連携・口腔機能管理21名、歯科医療安全管理34名、障害者歯科25名、老年歯科4名、地域歯科保健1名、口腔保健管理2名、う蝕予防管理55名、研修指導者・臨床実地指導者23名、合わせて327名の方々に認定歯科衛生士名簿に登録し、認定証を交付いたしました。各分野において認定歯科衛生士として活躍されることを期待します。

【認定分野A】生活習慣病予防(特定保健指導 - 食生活改善指導担当者研修)

Table listing participants for the '認定分野A' course on lifestyle disease prevention, organized by prefecture (e.g., 北海道, 宮城県, 東京都).

【認定分野A】摂食嚥下リハビリテーション

Table listing participants for the '認定分野A' course on feeding and swallowing rehabilitation, organized by prefecture (e.g., 宮城県, 東京都, 神奈川県).

【認定分野A】在宅療養指導・口腔機能管理

Table listing participants for the '認定分野A' course on home care and oral function management, organized by prefecture (e.g., 北海道, 宮城県, 千葉県).

【認定分野A】糖尿病予防指導

Table listing participants for the '認定分野A' course on diabetes prevention, organized by prefecture (e.g., 北海道, 宮城県, 千葉県).

【認定分野A】医科歯科連携・口腔機能管理

Table listing participants for the '認定分野A' course on medical-dental collaboration and oral function management, organized by prefecture (e.g., 北海道, 茨城県, 群馬県).

【認定分野A】歯科医療安全管理

Table listing participants for the '認定分野A' course on dental medical safety management, organized by prefecture (e.g., 青森県, 埼玉県, 長野県).

【認定分野B】地域歯科保健

Table listing participants for the '認定分野B' course on regional dental care, organized by prefecture (e.g., 徳島県, 宮崎県).

【認定分野B】障害者歯科

Table listing participants for the '認定分野B' course on dental care for people with disabilities, organized by prefecture (e.g., 茨城県, 愛知県, 大阪府).

【認定分野B】老年歯科

Table listing participants for the '認定分野B' course on geriatric dentistry, organized by prefecture (e.g., 神奈川県, 岡山県).

【認定分野B】口腔保健管理

Table listing participants for the '認定分野B' course on oral health management, organized by prefecture (e.g., 東京都, 静岡県, 徳島県).

【認定分野B】う蝕予防管理

Table listing participants for the '認定分野B' course on caries prevention, organized by prefecture (e.g., 北海道, 福島県, 新潟県).

【認定分野C】研修指導者・臨床実地指導者

Table listing participants for the '認定分野C' course on training and clinical practice supervision, organized by prefecture (e.g., 宮城県, 東京都, 山梨県).

第27回感染症予防歯科衛生士講習会開催のお知らせ

1 目的

歯科衛生士を対象に、最新の感染症事情、院内感染の予防管理対策や歯科診療所における医療安全対策に関する講習を行うことにより、患者が安心して受けられる歯科保健医療の提供を図ることを目的とする。

2 実施主体

日本歯科医師会・日本歯科衛生士会

3 協力

埼玉県歯科衛生士会

4 対象

業務に従事している歯科衛生士

5 開催日時・研修方法・定員

	A日程	B日程
開催日時	令和6年7月28日(日) 13時～16時50分	令和6年8月25日(日) 13時～16時50分
研修方法	Web研修(ライブ配信)	Web研修 (A日程の録画映像を配信)
担当	埼玉県歯科衛生士会	日本歯科衛生士会 生涯研修委員会
日程	13:00～13:10 開 会 13:10～16:40 講 演(60分×3名、講演間休憩あり) 1.最新の感染症事情 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 歯科・口腔外科診療科長 丸岡 豊先生 2.院内の感染予防管理 大阪大学歯学部附属病院 口腔総合診療部 副部長・准教授 野崎 剛徳先生 3.できることから始める歯科医療安全 事故を起こさないために 起ったらどうするか -リスクマネジメントとチームの視点から- 赤坂見附磯谷歯科室 院長 磯谷 一宏先生 16:40～16:50 閉 会	
定 員	250名	250名

6 受講料

無料

7 申込期間・申込方法

(1)申込期間 令和6年6月10日(月)～7月10日(水)
定員になり次第締め切ります。

(2)申込方法 下記URLよりお申し込みください。
<https://forms.gle/n34Xaizq8QjGf2vRA>

スマートフォン用二次元コード▶



【申込にあたっての留意点】

- 申込後は日本歯科衛生士会よりメールを送信しますので、ドメイン「jdha.or.jp」からのメールを受信できるようあらかじめ設定をお願いします。
- 申込後1週間を経過してもメールの返信がない場合は、再度連絡してください。

8 研修単位

- 日本歯科衛生士会 第5次生涯研修制度 専門研修 3単位
(基本研修 特定コース「歯科診療所等における医療安全管理対策」)
- 日本歯科衛生士会 第5次生涯研修制度 認定更新生涯研修 3単位

9 修了証書の交付

講習を修了した者に対し、修了証書を交付します。

10 注意事項

- 受講申込後、何らかの事情で欠席する場合は、必ず日本歯科衛生士会までメールでご連絡ください。順次他の者に受講の機会を与えます。
- 遅刻や早退の場合、研修単位の付与ならびに修了証書交付はございません。

11 問い合わせ先

日本歯科衛生士会 担当:小林
E-Mail kensyu@jdha.or.jp
F A X 03-3209-8023

日本歯科衛生学会 第19回学術大会 参加登録のご案内

日本歯科衛生学会第19回学術大会は2024年9月21日(土)～23日(月・休)の朱鷺メッセでの会場開催および終了後のオンデマンド配信を組み合わせたハイブリッド開催となります。参加登録は、オンライン登録のみとなり、登録期間は、会場参加とWeb参加の場合で異なります。

登録期間

① 会場参加：2024年7月1日(月)10時～9月23日(月・休)14時予定

※会場参加をされる方は、会場にお越しになる前に、必ずオンラインで参加登録を完了してください。
参加登録をされると、オンデマンド配信も追加費用なく視聴可能です。

② Web参加：2024年10月15日のオンデマンド配信開始と同時に開始予定です。
8月発行の学会雑誌Vol.19 No.1、大会ホームページでご案内します。

参加費

会員 7,000円 会員外 12,000円 ※別途システム手数料がかかります。

【登録方法】 日本歯科衛生学会第19回学術大会ホームページ内の「参加登録ページ」からお手続きください。
クレジットカード払いまたはコンビニ払いがご利用いただけます。 <https://jsdhm.jdha.or.jp/19th/>

【注意事項】

- 2024年度の会費が未納の方は、会員としての取り扱いはできませんのでご注意ください。
- 登録後の変更、キャンセルは一切お受けできません。納入された参加費は理由を問わず返金いたしません。
- 発表者、参加予定の方は日本歯科衛生学会公式X(@jsdh_official)のフォローをお願いいたします。

【その他】 詳細については、日本歯科衛生学会雑誌Vol.19 No.1(8月発行)および大会ホームページをご参照ください。

問い合わせ先 日本歯科衛生学会事務局 E-mail: gakkai@jdha.or.jp



※パソコン、スマートフォンから24時間登録可能です。



令和6年度 定時代議員会開催について

代 議 員 各 位

公益社団法人日本歯科衛生士会
会 長 吉 田 直 美

令和6年度定時代議員会を下記のとおり開催いたします。

記

- 1.日 時 令和6年6月9日(日) 13時30分～16時00分
2.場 所 ステーションコンファレンス東京602
東京都千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー6階
- 3.議 題
- 第1号議案 令和5年度事業報告(案)に関する件
 - 第2号議案 令和5年度決算報告(案)に関する件
監査報告
 - 第3号議案 日本歯科衛生士会定款の改正(案)に関する件
 - 第4号議案 日本歯科衛生士会諸規則等の改正(案)に関する件
日本歯科衛生士会代議員会運営規則の改正(案)
日本歯科衛生士会代議員選挙規則の改正(案)
日本歯科衛生士会役員選任規程の改正(案)
日本歯科衛生士会会員規程の改正(案)
 - 第5号議案 選挙管理委員の選任に関する件

4.報告事項

- ① 令和6年度事業計画について
- ② 令和6年度収支予算について

令和6年度

「歯科衛生士復職支援・離職防止等 研修指導者養成研修事業」について

今年度も厚生労働省の補助事業として標記の研修事業を下記のスケジュールにて行います。本事業は、新人歯科衛生士の離職防止と復職支援を地域において実践する指導者を養成するための研修です。歯科衛生士不足を解消して歯科衛生士の専門性を高めるために、本研修の受講は欠かせません。今年度も具体的な新人歯科衛生士の育成プログラム等を紹介する予定です。研修対象者は、① 都道府県歯科衛生士会の企画運営を担当する者、② 歯科衛生士養成機関の専任教員、実習指導員、③ 臨床実習施設等で指導を行っている者、④ ③のほか、臨床実習施設等で指導を行っている者です。

令和5年度に引き続き、オンラインで開催いたします。6月初旬に本会ホームページにて受講生を募集いたします。

研修日程(オンライン開催)	
第1回	令和6年 9月28日(土)～29日(日)
第2回	令和6年11月 2日(土)～ 3日(日)
第3回	令和6年12月14日(土)～15日(日)
第4回	令和7年 1月11日(土)～12日(日)

Linking JDHA to IFDH

「International Journal of Dental Hygiene」

本会では、国際歯科衛生士連盟が発行する学術誌「International Journal of Dental Hygiene(IJDH)」を購入しています。会員の皆様にはIJDHが無料公開されているウェブサイトへ直接アクセスできるように、2次元コードを公開いたします。

有料の部分については、IJDHを本会事務所(東京)で閲覧することができます。国際協力委員会までお申込みください。

(FAX 03-3209-8023)



国際歯科衛生誌

2024年2月 第22巻1号

本号は総説10本と原著論文18本を中心に構成されています。世界各国で行われた口腔保健に関する幅広いテーマの研究論文が掲載されています。そのうち9本は無料で閲覧が可能です。ご興味のある方はこの機会にお読みください。※第22巻2号より、タイムリーな情報をお届けするため、Instagramで先行発信を開始いたしました。本会公式アカウントをフォローしてご確認ください。(国際協力委員会 宮澤 絢子)

【IJDH】



【Instagram】



理事会報告

令和5年度第6回理事会が令和6年3月10日(日)に開催された。審議事項と報告事項は次のとおりである。

審議事項

- (1) 令和6年度各委員会の活動計画(案)について
- (2) 定款の改正について
- (3) 代議員会運営規則の改正について
- (4) 代議員選挙規則の改正について
- (5) 役員選任規程の改正について
- (6) 会員規程の改正について
- (7) 令和6年度事業計画(案)について
- (8) 令和6年度収支予算(案)について
- (9) 令和6年度資金調達及び設備投資の見込みについて
- (10) 令和6年度定時代議員会開催(案)について
- (11) 新入会員の承認について
- (12) 令和6年度災害歯科保健歯科衛生士育成研修および災害時に活動する歯科衛生士の登録について
- (13) 認定歯科衛生士委員会委員の委嘱について
- (14) 歯科衛生士の実態調査の実施について
- (15) 第5次生涯研修制度実施要綱の一部改正について
- (16) ウェブサイト会員ページでの修了証書ダウンロードについて

- (17) その他
災害歯科保健活動に関する調査への研究協力について

報告事項

- (1) 会務報告
 - ① 業務執行理事等の職務執行報告
 - ② 常務理事会の報告
 - ③ 常任委員会等の報告
- (2) 監査実施報告
- (3) 令和4年度「歯科衛生士の研修指導者・臨床実地指導者等講習会」修了者アンケートの調査結果報告
- (4) 事務局職員業務分担(令和6年度)
- (5) 後援名義使用及び生涯研修制度の研修単位認定
- (6) 第18回災害歯科保健医療連絡協議会報告
- (7) 第81回全国小学生歯みがき大会組織委員の推薦
- (8) 令和5年度都道府県歯科衛生士会への研修支援実施状況
- (9) 令和5年度歯科衛生士復職支援・離職防止等研修指導者養成研修事業報告
- (10) その他